

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【公開番号】特開 2018-72112 (P2018-72112A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2016-210979 (P2016-210979)

【国際特許分類】

G 0 1 B 11/26 (2006.01)

G 0 1 B 11/00 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 11/26 H

G 0 1 B 11/00 H

G 0 2 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 11 日 (2019.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のレンズユニットを有するレンズ本体を含み、

前記複数のレンズユニットは、

平面方向において連続的に配置され、

前記各レンズユニットは、それぞれ、

前記レンズ本体の一方の表面側に、前記レンズユニットが連続する配置方向に向かって、集光部と非集光部とを有し、

前記レンズ本体は、

前記レンズ本体の他方の表面側に、前記一方の表面側から検出可能な複数の被検出部を有し、

前記複数のレンズユニットのピッチと、前記複数の被検出部のピッチとが異なることを特徴とするマーカ。

【請求項 2】

前記レンズユニットにおいて、前記集光部の表面は、凸面状であり、前記非集光部の表面は、平面状または凹面状である、請求項 1 記載のマーカ。

【請求項 3】

前記レンズユニットは、シリンドリカルレンズの凸部の一部が欠失した欠失シリンドリカルレンズであり、

前記凸部における前記欠失領域が、前記非集光部であり、前記凸部におけるその他の領域が、前記集光部である、請求項 1 または 2 記載のマーカ。

【請求項 4】

前記レンズユニットは、厚み方向の断面において、前記配置方向における前記集光部の長さ (C) と、前記配置方向における前記非集光部の長さ (NC) との比 (C : NC) が、1 : 1 ~ 3 : 1 である、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のマーカ。

【請求項 5】

前記レンズ本体は、前記レンズ本体の他方の表面側に、複数の凹部を有し、
前記各凹部は、その内部に、前記被検出部を有する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のマーカ。

【請求項 6】

前記レンズ本体は、前記複数のレンズユニットの一体成形品である、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のマーカ。

【請求項 7】

前記レンズ本体は、射出成形品である、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のマーカ。